



インタビュー  
Interview

## 世界ジュニアゴルフ選手権で 優勝したい

輝いている人

7月にアメリカのサンディエゴで開催される、世界ジュニアゴルフ選手権の7歳から8歳の部に、日本代表として出場するのが梶谷翼さん(総社東小学校3年)だ。

5月13日に岐阜県で開催された、マクドナルドカップ世界ジュニアゴルフ選手権日本代表選抜大会で優勝し、世界への切符を手にした。「本当にうれしかった」と、喜びを話すと同時に、周囲の期待に応えることができ、「ほっとした」と、笑顔を見せる。

ゴルフは6歳から始めた。おもちゃのゴルフクラブで遊ぶ娘を見て父親の教義さんが「センスがあるのでは」と思ったからだ。コーチも教義さんが務め、岡山市の練習場で、平日は約3時間、土日もほぼ一日中練習している。技術面以上

に礼儀や精神面を鍛えるという父親に対し、「きびしい」と、本音をのぞかせる。昨年の日本代表選抜大会では、年上を相手に1打差で2位となったが、惜しくも日本代表の座を逃した。「最終ホールを前にOBを打ってしまった。負けてくやしかった」と、振り返る。「来年こそは」との思いが、今回の代表決定への原動力となったようだ。

「得意なクラブはドライバーとウェッジ」。ドライバの飛距離は、大人顔負けの200ヤードだ。今はアメリカのコースに対応できるように、ロブショットを練習しているという。

将来の夢は「プロゴルファー」と、目を輝かせる。夢への第一歩となる世界の舞台の前に、「優勝して世界一になりたい」と、自信と意気込みを見せた。

梶谷 翼さん(窪木)

世界を舞台に戦うプロゴルファーを目指す

さあ、はじめよう!

## 良心

「正しいことをしたい」という心。だれもがもっている心、良心です。でも、「自分の失敗をみとめたくない」とか、「自分から本当のことを言うのはこわい」などと、自分が本当にもっている心とちがうことを言ったり、本当の心とちがう行動をしたりすることがありませんか。

そんなとき、心の窓がくもってしまい、モヤモヤとした感じになりませんか。「正しいことをしたい」という心とそうではない心。心と心のつな引きをして、どちらの心で行動するか考える。自分の本当の心はどちらでしょうか。

自分の心にまっすぐに向き合う。自分の心にすなおになる。そうすると、モヤモヤはなくなり心が軽く晴れやかになります。心が晴れやかになれば、元気が出ます。やる気がわいてきます。自分に正直になって、明るく元気でいたいですね。

問い合わせ 学校教育課 (☎92-8358)



遠足ですべての学年がいっしょに歩く総社東小学校の児童。上級生が下級生の手をしっかりと握り、楽しく歩いて目的地に向かいました。上級生と下級生がいっしょに活動することを通して、正しいふるまい方や行動の仕方を学んでいます。



推進啓発ポスター

## 季節の絵本!

『たなばたむかし』  
大川悦生・作 石倉欣二・絵  
ポプラ社



## 今日のテーマ 「たなばた」

むかしのむかし。いぬかいさんて若者が、松の枝にかかる天女の羽衣を見つけた。羽衣を隠して天女をお嫁さんにしたけれど、やがて天女は天の国へ帰ってしまう。会いたくてたまらないいぬかいさんは、どうしたかな。

7月7日の七夕にまつわる民話です。家族でゆっくり夏の空を見上げて、天の川にいぬかいさんとたなばたさんの星を探してみませんか。